

SIT*KMU グローバルデザインワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年02月04日 ~2026年02月11日	日本	国民大学	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン工学科、機械工学専攻、電気電子情報工学専攻、システム理工学専攻 ・学部2年生、学部3年生、修士1年生、修士2年生、学部1年生 	(芝浦工業大学) 学生57名、学生バイト8名、 教員1名 (国民大学) 学生49名、教員2名	梁 元碩(デザイン工学科)



図1 開会式

国民大学校と芝浦工業大学は共同で大規模なgPBLプログラムを成功裏に開催し、学生と教職員を含む116名の熱心な参加者を集結させた。19の多様なチームに分かれた参加者は、「不便の利点(Fuben-eki)」というユニークなテーマに取り組みました。プログラムは熱海セミナーハウスでの3日間の集中フィールド調査から始まり、学生たちは不便の中に潜む価値を発見するため、現実のシナリオを探求した。続く5日間は会場を豊洲キャンパスに移し、各チームは深い議論と共同プロトタイピングを通じて提案を完成させました。積極的なチームワークで言語や文化の壁を乗り越えた参加者たちは、制約と思われた要素を創造的優位性へと転換する革新的なアイデアを生み出しました。この8日間の旅は、関係者全員にとって驚くほど実り多く、変革をもたらす経験となりました。



図2 フィールドトリップ



図3 アイデア出し



図4 文化体験



図5 文化体験



図6 成果発表



図7 成果物パネル